

平成25年日本臨床細胞学会京都府支部総会時幹事会議事録

■ 日 時 : 平成25年2月3日(日) 12時00分~12時55分

■ 会 場 : アークレイ京都研究所

■ 報 告 :

基礎報告(平成24年12月31日現在)

<京都府支部会員数>

258人 (うち他重複会員25人、新入会員14人、退会6人)

(内訳 : 専門医49人、医師8人、細胞検査士201人)

<会費納入状況>

会費未納者 : 平成24年度分22人(うち平成23年度分未納2人含む)

■ 議事内容

1. 平成24年事業報告 (別紙)

2. 平成24年会計報告 (別紙)

・今後の講師宿泊費用について、同伴者の宿泊費は個人負担とする

3. 平成25年事業案 (別紙)

・従来から子宮がん検診事業の精度向上に対して京都府より委託金がでていているという歴史を踏まえて、第26回生活習慣病予防検診従事者研修会において、症例検討会に「婦人科症例を含む」を追記する

・次年度以降も、委託金抛出の意味合いに留意すること

4. 平成25年予算案 (別紙)

5. その他(報告事項等) (別紙)

(1) 第30回京都民医連中央病院「細胞診教育セミナー」の後援

・昨年は1名の合格者あり

(2) 近畿連合会・診断学推進協会からの報告 (別紙)

・近畿連合会学術集会の京都府支部担当が2015年なので、2014年の奈良県開催時には、日時と場所を報告する必要がある

・2014年春ごろにはワーキンググループの立ち上げが必要である

(3) その他

・中泉明彦支部長が東京都へ転出となるため、任期途中であるが支部長退任となる

・次期支部長について、三上芳喜専門医部会長(京都大学医学部附属病院)が推薦され、承認となった

・任期は、次期役員改正までの1年間

1. 平成 24 年事業報告

1) 第 25 回生活習慣病予防健診細胞診研修会

期日：平成 24 年 2 月 13 日（日）13 時 00 分～17 時 10 分

会場：キャンパスプラザ京都 4F 第 3 講義室

・参加者数：61 名（専門医：9 名、細胞検査士 51 名、その他 1 名）

内容：講演 『腹部画像の見方（婦人科疾患を含む）』

後藤 眞理子 先生（京都府立医科大学 放射線科）

『症例検討会（婦人科疾患を含む）婦人科検体、腹水、他 』

各種画像と細胞診画像を合わせて、組織型を推定してみよう！

座長（進行） 岸本 光夫 先生（京都府立医科大学 人体病理学）

2) 第 29 回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会

期日：平成 24 年 7 月 15 日（日）

会場：京都大学百周年時計台記念国際ホール

・参加者数：128 名（専門医 22、検査士 93、その他 13）

要望講演：「病理細胞診分野への遺伝子染色体解析の応用」

郡司 昌治 先生（名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部）

協賛：アークレイ・マーケティング株式会社

特別講演：「日本における子宮内膜細胞診－現在の問題点と解決の方向性－」

矢納 研二 先生（J A 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 婦人科）

一般演題：7 題

3) 第 14 回教育研修会

日時：平成 24 年 12 月 16 日（日）

会場：ホテル京阪京都

・参加者数：84 名（専門医：10 名、細胞検査士：72 名、その他：2 名）

教育講演 1 「乳腺細胞診—良悪性の鑑別に迷う症例の細胞所見の分析—」

是松 元子先生（埼玉社会保険病院病理部）

教育講演 2 「乳腺の良悪性境界病変 組織学的所見を中心に」

桜井 孝規先生（済生会野江病院病理診断科）

スライドカンファレンス

症例 1 耳下腺腫瘍

出題：由木 はる美（京都府立医科大学附属病院病院病理部）

回答：中村 祥子（宇治徳洲会病院検査科）

症例 2 乳腺穿刺

出題：野田 みゆき（京都市立病院臨床検査技術科）

回答：深田 智子（第二岡本総合病院臨床検査科）

4) 京都・奈良 古都を結ぶ勉強会

期日：平成 24 年 3 月 30 日（土）

参加者：細胞検査士 京都府支部 11 名 他府県支部 37 名 検査技師 53 名

会場：奈良市総合医療検査センター 3 階 視聴覚室

講演 I 「一般検査室と細胞診検査室の融合」—尿沈渣から尿細胞診へ—

講師 (株) エスアールエル学術顧問 西 国広 先生

講演 II 「膀胱尿路上皮癌 - 治療による組織像・細胞像の修飾について」

講師 奈良医科大学病理病態学講座 講師 島田啓司 先生

症例検討 4 症例

5) 子宮の日の活動

期日：平成 24 年 4 月 8 日（日）

会場：イオンモール KYOUTO Kaede 館

内容：講演、パネルディスカッション、演奏会、ダンス等

スタッフ：細胞検査士 22 名、検査技師等 6 名 その他 10 名

来場者：延 500 名

6) 第 6 回京都細胞診ワークショップ

期日：平成 24 年 7 月 21 日（土）

会場：京都保健衛生専門学校

講義およびワークショップ（生活習慣病予防健診細胞診従事者研修会関連プログラム）

I、講義

講演：「胆管・膵管の細胞診」

竹中明美 先生 大阪府立成人病センター 臨床検査科 病理 細胞診

II、ワークショップ（検鏡実習）

竹中明美 先生 大阪府立成人病センター 臨床検査科 病理 細胞診

参加者：細胞検査士 30 名、検査技師 2 名、学生 1 名

7) 第 59 回日本検査医学会学術集会(京都)の細胞診企画

会期：平成 24 年 11 月 29 日（木）～12 月 2 日（日）

・細胞診症例検討 —報告書作成にむけた所見のまとめ方を中心に—

日時：症例提示 11 月 30 日（金） 10 時 00 分～12 月 1 日（土） 13 時 00 分

症例解説 12 月 1 日（土） 13 時 00 分～14 時 50 分

<細胞検査士参加者数：32 名>

・パネルディスカッション：子宮頸がんの征圧を目指して

日時：12月1日（土） 15時00分～17時00分

<細胞検査士参加者数：27名>

2. 平成24年会計報告

日本臨床細胞学会京都府支部決算報告

※ 会計期間 平成24年1月1日～平成24年12月31日

【収入の部】

繰越金			1,399,166 円
入会金	平成24年度分	14 人	14,000 円
年会費	平成22年度分	1 人	1,500 円
	平成23年度分	4 人	6,000 円
	平成24年度分	237 人	355,500 円
	余剰入金	1 人	5,000 円
近畿連合会分担金	平成22年度分	1 人	1,000 円
	平成23年度分	3 人	3,000 円
	平成24年度分	213 人	213,000 円
雑収入			
・	平成23年度生活習慣病従事者講習会委託料		360,000 円
・	日細胞京都府支部会第29回学術集会助成金(アークレイ)		120,000 円
・	利子・金利		135 円
総計			2,478,301 円

【支出の部】

通信連絡			73,680 円
慶弔費			0 円
旅費交通			98,360 円
事務用品			30,790 円
印刷費			64,000 円
講師謝礼			180,000 円
会場費			208,350 円
什器備品			0 円
専門医部			0 円
検査士部			30,000 円
雑費			179,618 円
近畿連合会費(231名分)			231,000 円
繰越金			1,382,503 円
総計			2,478,301 円

平成25年1月6日
会計担当幹事
川村敏文

3. 平成 25 年事業計画

1) 第 26 回生活習慣病予防健診細胞診研修会

日時 平成 25 年 2 月 3 日 (日) 13 時 00 分～17 時 10 分

会場 アークレイ京都研究所

講演 1 『肺癌細胞診 Update』 堀 隆 先生 (富山大学)

講演 2 『膵癌早期診断へのアプローチ』 中泉 明彦 先生 (京都大学)

講演 3 症例検討会『報告書作成に向けた所見のまとめ方について』

岡部 英俊 先生 (滋賀医科大学)

2) 第 30 回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会

平成 25 年 7 月 14 日 (日)

京都大学百周年時計台記念国際ホール

3) 第 15 回教育研修会

平成 25 年 12 月 (予定)

4) 子宮の日子宮頸がん検診啓発活動

平成 25 年 4 月 14 日 (日)

イオンモール KYOTO

5) 第 7 回京都細胞診ワークショップ

平成 25 年 6 月 (予定)

4. 平成 25 年予算案

平成25年日細胞京都府支部予算書

※ 会計期間 平成25年1月1日～平成25年12月31日

【収入の部】

繰越金		1,382,503 円
入会金	10 人	10,000 円
年会費	258 人	387,000 円
近畿連合会分担金	233 人	233,000 円
雑収入		
平成24年度生活習慣病従事者講習会委託料		360,000 円
利子・金利		150 円
総計		2,372,653 円

【支出の部】

通信連絡		70,000 円
慶弔費		15,000 円
旅費交通		80,000 円
事務用品		20,000 円
印刷費		65,000 円
講師謝礼		200,000 円
会場費		220,000 円
什器備品		20,000 円
専門医部		20,000 円
検査士部		20,000 円
雑費		70,000 円
近畿連合会費(217名分)		217,000 円
繰越金		1,355,653 円
総計		2,372,653 円

平成25年1月6日
会計担当幹事
川村敏文

5. その他

(1) 2013 年度(第 30 回)京都民医連中央病院細胞診教育セミナー後援

期 間	4 月～12 月(講義と実習)	年間約 60 回
日 時	毎週月・木曜日	午後 6 時 30 分～午後 10 時 00 分
会 場	京都民医連中央病院病理技術課	
定 員	15 名	
受 講 料	一般コース(実習のみ)60,000 円	基礎コース(実習+基礎講義)80,000 円
参加資格	・臨床検査技師資格取得者 ・日本臨床細胞学会認定細胞検査士でない人 ・資格認定試験受験希望者や細胞診に深い関心のある人 ・期間中受講できる人	
講義内容	病理形態学を中心に各主要臓器について学習する。 悪性細胞を中心に判定基準をスライドや標本で学習する。	
募集受付	2013 年 2 月 20 日～2013 年 3 月 20 日	

(2) その他

・近畿連合会

- ◇ 2013 年 9 月 8 日 第 39 回近畿連合会学術集会 (和歌山県民文化会館)
学術集会長 村田先生
- ◇ 学術集会ローテーション 2014 年奈良 ⇒ 2015 年京都

・診断学推進協議会

- ◇ 公益法人化後は、都道府県支部は日本臨床細胞学会の所属団体ではなく独立した団体となるため、細胞学会から都道府県支部に所属することの強制はできない
- ◇ 資格更新の単位を引き上げ、「支部に所属している」ということに対してクレジットを与える (支部に所属していれば従来と更新単位は変わらないこととなる)
細胞検査士資格クレジットが現在の 180 点から 280 点に変更
各支部に属していると 1 年間に 25 点、4 年間で 100 点のクレジットが与えられる
- ◇ 公益法人化後でも、日本臨床細胞学会京都府支部の名称は使用できる
- ◇ IAC 試験が平成 25 年 6 月 16 日に実施されるが今回の試験より IAC 試験受験は JSC 合格から 2 年後となる
- ◇ 会員情報変更は細胞検査士会 HP からではなく細胞学会 HP から行う